

本會南米支部の經緯度

本會の南米支部は、度々の興味ある通信により、熱心に天文研究をしてみられること普く知られてゐる所であるが、今回、彼地より送り來る多くの材料により、専ら山本會長の手許で其の經緯度を嚴密に調査中であつた。其の結果（何ぶんにも彼地には未だ精密な地圖が發行されてゐないので甚だ不充分であるが）、下の如く決定された。

西 經 51° 29' 3 又は 3h 25m 57s
南 緯 20° 36'

寄贈交換圖書目録（昭和九年一月）

〔寄贈を受けたもの〕

滿洲國大同三年時憲書・中央氣象臺・昭和九年潮汐表・

東京天文臺報（第1卷第4號）・海洋氣象臺彙報・第66號・第67號・

〔交換したるもの〕

天文月報、地球、地質學雜誌、地學雜誌、氣象集誌、科學知識、理學界、無線電話、ラヂオの日本、科學、オリン、世界の電氣、拓け行く電氣。

グ リ ル

月見 天體望遠鏡といふものをはじめ、のぞいてみました。よく雑誌なんかに出てゐる月面寫眞を見ると、なんだか氣味が悪くて、あの美しい月をあんな醜怪な姿にして見せる望遠鏡といふものには、實をいふと、あまり好感が持てなかつたのですが、實際見てその美しいのに驚きました。醜いのは印刷の罪で、レンズそのものゝ罪ではないことがはじめてわかりました。土星の、妖しいほどのあ

の美しさ！ レンズで見た美しさの神祕的なのに比べると、肉眼で見る美しさは、やはりこの世のものゝ美しさでしかないやうに思ひました。

山本博士のお話もうかびましたが、今までは馬鹿らしくしか思へなかつた所謂天文學的數字が、それを唱へると神祕の世界へ飛んで行けるお伽噺の呪文か何かのやうに思へたのも愉快でした。（K）